

令和3年7月3日

関係各位

國學院大學卓球部
監督 人見 剛

これまでの経過について

平素より、國學院大學卓球部の活動へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、部内に複数のコロナ感染者が出ていることにつきまして、大変ご心配をおかけしております。この間、大学・保健所の指導による練習停止、陽性反応のあった部員が複数名となったことによる全国大会棄権という苦渋の決断をいたしました。昨年5月25日の緊急事態宣言解除後より、他に先駆けて活動を再開し、「来るべき日」に向けて努力を重ねてきた部員の姿を見てきた者として、無念です。

今回これまでの経過をまとめましたので、ご確認いただけますと幸いです。あわせて、事情ご賢察くださいますよう、何卒お願い申し上げます。

<概要>

6月20・21日に開催された関東学生卓球連盟（以下、学連）主催の大会以降、（現時点までに）3名の陽性反応者が発生し、大学・保健所の指導により、男子は7月1日からの全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部（以下、インカレ）を棄権することになった。

<経過>

6月20日（日） 関東学生卓球新人戦 女子シングルス1・2回戦（10：00～12：30）

男子シングルス1～3回戦（12：30～19：00）

6月21日（月） 関東学生卓球新人戦 男子シングルス、女子シングルス（9：30～16：30）

※ 前年度までに全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部に出場した者は、本大会に出場することはできない。

6月24日（木） 夜、Aより体調不良のため、翌日の朝に病院へ行くとの連絡あり。

6月25日（金） Aより抗原検査の結果、陽性であったとの連絡を受け、大学へ報告。当日の練習中止。

※ Aは20・21日の大会に出場、22日以降も練習に参加。

※ 保健所によるヒアリングの結果、「濃厚接触者なし」との判断を受ける。

6月26日（土） 引き続き、練習中止。昼に全部員から体調報告を受けるが、Bより発熱はないものの違和感がある旨の申し出があり、ただちに病院へ行くように指示。その後、陽性であったとの連絡を受ける。

※ Bは20日のみ大会に出場、21日以降の練習には不参加。

大会2週間以内の発症であることから、学連へ報告。他に複数の大学から発症報告があったとの情報を得る。

- 6月27日(日) 保健所による「濃厚接触者なし」との判断を受け、インカレ登録者のみ練習。
※ 学連より、20・21日の新人戦において、コロナ感染者が複数の大学から出たことから、インカレ登録者はPCR検査を受けるよう指示がなされる。
夜、Cより体調不良のため、翌日の朝に病院へ行くとの連絡あり。
- 6月28日(月) インカレ登録者全員がPCR検査を受ける。
- 6月29日(火) CよりPCR検査の結果、陽性であったとの連絡を受ける。
※ Cは20・21日の大会に出場、23・24・27日の練習に参加。
PCR検査の結果、インカレ登録者は全員陰性であることが確認される。
大学より、複数名の感染者(A・B・Cはいずれも男子)が出ている状況においては、検査結果が陰性であっても男子の出場を見合わせるよう指導を受ける。
学連へ発症者の追加を報告。
男子インカレ登録者に対して、インカレを棄権することを伝える。
- 6月30日(水) Cの発症を受け、保健所より「クラスター」発生の可能性は低いものの、全部員がPCR検査を受けるよう指導を受ける。
女子インカレ登録者、インカレ(京都)へ出発。
- 7月1日(木) インカレ登録者、自主的に検査を受けた者、帰省中の者以外がPCR検査を受ける。
インカレ初日(～7月4日)
- 7月2日(金) PCR検査を受けた全部員が陰性であることの確認がなされる。

<まとめ>

今回の件は、学生部や保健室といった大学事務局ばかりでなく、保健所の指導を受けながら判断することとなりました。また、この状況は大学内の危機対策本部にも上程され、理事長・学長にも報告がなされています。最初の感染者が発生した時、学生には「人は苦しい局面で、その本質が見える」と伝えました。現状は大変苦しいところですが、しっかりと前を向いて進みたいと思います。

以 上